

JKA 補助事業 2025年度 事前計画／自己評価 結果

5. 補助事業の自己評価

(a) 個別評価項目

(2) 事業 内容	[計 画] (1)訪問入浴車 (2)車種 燃料車 (3)メーカー名 マツダ(トヨタ) (4)車名 ポンゴ(タウンエース) (5)排気量(CC) 1,500CC (6)用途 ゆうらいふ訪問入浴サービスにおいて、在宅での訪問入浴サービスに利用			[具体的内容] (1)訪問入浴車 (2)車種 燃料車 (3)メーカー名 トヨタ (4)車名 タウンエース (5)排気量(CC) 1,490CC (6)用途 ゆうらいふ訪問入浴サービスにおいて、在宅での訪問入浴サービスに利用 計画どおりの事業内容を実施できた。		
	実施計 画・体制	[計 画] 実施主体 涌谷町社会福祉協議会 ゆうらいふ訪問入浴サービス 住 所 涌谷町涌谷字新下町浦 192 実施場所 障 害:涌谷町、大崎市、登米市 要介護:涌谷町、美里町 実施体制 管理者 1 名(兼)、看護職員 3 名(兼)、介護職員 4 名(兼)で看護職員 1 名、介護職員 2 名の 3 名でチームを編成しご自宅へ訪問。看護職員が前後の体調確認(バイタル等)を実施、介護職員 2 名と連携し入浴介助を実施する。			[具体的内容] 当初計画のとおり実施できた。	採点 4
(3) 達成 目標	事業の 実施結 果	[計画値] 2025 年 9 月導入	[達成値] 2026 年 1 月納車	[達成状況] 33%	[具体的内容] 納車が 1 月 27 日後ろ倒しになったことから、1 月末から 2 月頭を操作等の研修期間とし、2 月 4 日から実際に訪問先でのサービス提供を実施できた。	採点 1
	事業の 成果・波 及	[計画値] 平均利用者数 4.6 名/ 日、稼働時間 4.6 時間/ 日、利用件数 101.2 名/ 月、稼働日数 264 日/年	[達成値] ・平均利用者数 4.8 名/日 ・稼働時間 4.8 時間/日 ・利用件数 104.9 名/月 ・稼働日数 261 日/年	[達成状況] 103%	[具体的内容] 利用者数 1 日平均 0.2 名、利用件数が月 4.3 名、年間稼働時間 47.8 時間、年間提供人数 47.8 名のそれぞれ増(約 2.8%)となった。 【2 月末実績】	採点 4

(4) 情報 発信	事業の 実 施結果	[計画値] ・「福祉わくや」へ掲載: 6,200 部発行(涌谷町全 戸・関係各所へ配付) ・HP への掲載:閲覧 53,000 回/年	[達成値] ・涌谷町社会福祉協議会 機関誌「福祉わくや」3 月 号にて周知(1 回) ・ホームページへの掲載 にて周知(3 回)	[達成状況] 100%	[具体的内容] ・3 月に発行した当会機関誌「福祉わくや」(6,200 部発行/ 回)に掲載したことにより、涌谷町全戸及び教育機関、町内 企業等へ効果的に広報することが出来た。 ・ホームページに 3 回掲載したことにより、広く一般(閲覧件 数 53,000 件/年)に広報することが出来た。	採点 4
	競輪・オ ートレー ス補助 金による 助成事 業であ ること	[計画値] ・「福祉わくや」へ掲載: 6,200 部発行(涌谷町全 戸・関係各所へ配付) ・HP への掲載:閲覧 53,000 回/年	[達成値] ・涌谷町社会福祉協議会 機関誌「福祉わくや」3 月 号にて周知(1 回) ・ホームページへの掲載 にて周知(3 回)	[達成状況] 100%	[具体的内容] ・3 月に発行した当会機関誌「福祉わくや」(6,200 部発行/ 回)に掲載したことにより、涌谷町全戸及び教育機関、町内 企業等へ効果的に広報し、競輪・オートレースのからの補助 を受け購入、運用していることが広報できた。 ・ホームページに 3 回掲載したことにより、広く一般(閲覧件 数 53,000 件/年)に広報し競輪・オートレースのからの補助 を受け購入、運用していることを効果的に周知できた。 ・2 月からは、公益財団法人 JKA の標識をつけた訪問入浴 車が町内、近隣市町村を走行することにより競輪・オートレ ースのからの補助を受け購入、運用していることを効果的に 周知できた。	採点 4
(5) 自己評 価の体 制	[計画] ・評価体制:利用者家族様 1 名、行政区長 1 名、民生委員 1 名、行政関係 者 1 名、事務局長 1 名、責任者在宅介護課長、総務企画課担当 1 名 ・評価方法:利用者様(家族様)全員へアンケート実施しその結果を基に協 議・評価を実施 ・自己評価結果の公表:HP への掲載、文書での通知(利用者、家族様)			[具体的内容] ・評価する体制を利用者家族様 1 名、行政区長 1 名、民生委員児 童委員 1 名、行政関係者 1 名の外部関係者からなる評価委員会を 計画していたが、当会介護サービス部会員((社協理事で構成:内 訳(シルバー人材センター事務局長、社会福祉法人理事長、行政 区長、商工会副会長、特別養護老人ホームゆうらいふ施設長))に 利用者家族様 1 名を加えた評価委員会を開催し評価を行った。 ・評価は利用者様(家族様)全員及びスタッフにアンケートを実施、 その結果及び自己評価シートを使用し協議、評価を実施した。 ・自己評価結果はホームページに掲載し、また、家族様に文書によ りアンケート結果及び評価結果を通知した。		採点 4

(b) 総合評価

総合評 価点	4
-----------	---

(1) 事前計画 (2/5) 記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	[直接的な目的] 可能な限り住み慣れた家で生活が継続できるよう、訪問入浴車を使用した入浴サービスを提供し涌谷町及び近隣市町村の利用者の訪問入浴サービスのニーズに最大限応えられるよう環境を整備する。	[具体的内容] 補助を頂き訪問入浴車を更新できたことで、可能な限り住み慣れた家で生活の一助となる訪問入浴サービスを継続でき涌谷町及び近隣市町村の自宅での入浴ニーズに最大限応えられた。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	浴槽が深くなったことで利用者様がゆったりと入浴できる環境が整備できた。 車両本体サイズのコンパクト化によりサービスを提供する場所まで今まで以上に近づくことができ準備、撤収にかかる負担が軽減された。軽量、分割化された浴槽及び新型ボイラー、ポンプの使用によりタフの負担軽減が図られた。軽量・分割型の浴槽は室内や搬入経路が限定されず様々なケースに対応可能となる。 浴槽の全長が短くなったことで体の大きな利用者様の入浴方法に研修を重ね最善な方法を見つけだしたい。一体型の浴槽から分割型の浴槽になり組み立てる時間は増加したが、安全第一に研修を繰り返し組み立て時間の短縮と負担軽減を目指したい。	
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	利用者様のお宅で「車新しかったんだね」「浴槽が2分割になって搬入が楽になったね」と声を掛けて頂くことが増え、利用者様・家族様との会話が增えました。	